

東大 小川紘一先生が語る『我が国製造業の再興戦略』

～小川紘一著『オープン&クローズ戦略－日本企業再興の条件』 翔泳社刊～

先進国型製造業としての日本企業を再興させるための戦略として『オープン&クローズ戦略』が提案されています。『オープン&クローズ戦略』、つまり、「国際標準化」と「知財ネージメント」により、研究開発の成果の『大量普及と高収益を同時に実現させる戦略』が熱く語られています。

日本企業やノキアがスマホで市場撤退する一方で、アップル、インテル、クアルコム、サムソン等で業績を伸ばしている企業があります。本書は、長年にわたる実証研究を踏まえ、世界の製造業の現状を分析し、日本の製造業の問題は「技術イノベーションや製品イノベーションが不足していたからではなく、モノづくりやイノベーションの成果をグローバル市場の競争力に繋げられなかったことにある」としています。

日本が世界に冠たる国であるために、21世紀の日本の製造業が経営思想をどのように変えなければならないか、再構築すべきビジネスモデルと知的財産マネジメントの方向、およびこれを担う軍師型の人財育成の必要性が具体的に提案されています。

本書は、日本企業がグローバル市場で競争優位を築くための処方箋となっています。

現在の低収益が続けば、懸命にイノベーションに取り組む意義が見いだせなくなり、研究開発型の製造業が成り立たなくなってしまいます。極端に言えば、人類の発展もなくなろうというものです。

巻末に2020年の日本の有るべき姿が描かれています。此处を先に読んで、どうすれば達成できるのか考えながら、読み進めてはいかがでしょうか

<目次>

はじめに 基本メッセージとその背景

第1章 エレクトロニクス産業の敗戦

第2章 製造業のグローバルイノベーション

第3章 欧米諸国が完成させた「伸びゆく手」のイノベーション

第4章 アジア諸国の政策イノベーション

第5章 アジア市場で進む日本企業の経営イノベーション

第6章 オープン&クローズ戦略に基づいた知的財産マネジメント

終わりに /2020年の日本